にしきおてらす 名張を照らす

錦生自治協、特別米ギフト

ラッピングに伊賀の「粋」

奈良県境に近い名張市錦生地区の地縁法人「錦生自治協議会」が、地元で生産した特別栽培米を高級ギフト商品にした「にしきおてらす」シリーズを開発した。日本穀物検定協会の米の食味ランキングで5年連続「特A」になった伊賀コシヒカリを、伊賀の組みひもや伊勢木綿、伊勢型紙、木箱などでラッピング。主にインターネットを通じて全国販売する。

すでにシメジの栽培、加工、販売を手掛けている同自治協議会の地産地消部がコミュニティービジネスの一環でこの秋、同市結馬に「錦米生産センター」を立ち上げ、取り組んだ。「にしきおてらす」は有機肥料のみを使い、農薬を地元の平均に比べて7割減らした特別栽培米で、ネーミングには「錦生に光を当てたい」という願いを込めた。シリーズのラインナップは三つで、米2キロを1キロずつ伊勢木綿の手ぬぐいで包み、木箱に入れ、伊賀の組みひもをかけて風呂敷に包んだ「錦」が1万円。米600グラムを伊勢木綿、伊賀の組みひもを使った弁当袋の巾着に包み、伊勢型紙の箱に入れた「結」が3950円。米600グラムを300グラムずつ伊勢木綿のハンカチに包んだ「愛」が1500円（いずれも税別）。

手ぬぐいや木箱、組みひも、風呂敷、巾着、ハンカチのデザインは県内在住のデザイナーによるオリジナルで、ブランド名を「おは（わ）します」とした。「いらっしゃる」を丁寧に表したことばで、自然や生産者、消費者などへの感謝の思いを込めたという。

生産センター併設の有限会社が運営するオンラインショップ「Kids Terrace（キッズテラス）」（http://www.rakuten.co.jp/kidsterrace/）で主にネット販売するほか、「愛」は道の駅などでの店頭販売も予定している。

シリーズを手に26日、市役所を訪れた冨山修・錦生自治協議会長は「地元の様々な産物を広くアピールしたいと、名張ブランドを立ち上げた。地元を若者が移住してくれるようにするのが目的」と亀井利克市長に説明。市長は「高級米は、人生の節目の進物などに向きそうだ。首都圏などに発信したら良いのではないか」と話した。

問い合わせは錦米生産センター（0595・64・3131）へ。（中川史）

米のラッピングには見えない「にしきおてらす」

名張・伊賀市 10大ニュース

名張市は、亀井利克市長が選んだ「今年の10大ニュース」を発表した。市政に大きな影響を与えた出来事や市民の暮らしに身近で影響を与えたもの、先進的な市の取り組み、夢や希望を与えたものなどを選んだとしている。順位はつけていない。個別のニュースは次の通り。

①議場コンサートを開催（3月11日）②修験の道開通（3月27日）③公民館から市民センターへ（4月1日）④都市振興税を導入（4月1日）⑤熊本地震への復興支援（4～6月、10月～）⑥空き家対策で移住を支援（6月1日）⑦伊勢志摩サミットで名張の日本酒が使われました（5月26、27日）⑧子どもの医療費助成の対象を中学3年生まで拡大（9月～）⑨市地域福祉教育総合支援システムが始まる（11月13日）⑩議員提案により「ものづくり基本条例」や「『食べてだあこ』名張のお菓子でおもてなし条例」を制定（3月、12月）

◇

伊賀市も今年の10大ニュースを発表した。順位はつけず、時系列に並べた。

①同性カップルによる伊賀市パートナーシップ宣誓制度を施行（4月1日）②伊勢志摩サミットで伊賀の地酒などが採用（5月26、27日）③「俳句」のユネスコ無形文化遺産登録へ発起人会（7月22日）④伊賀線開業100周年（8月8日）⑤新消防庁舎が完成（9月28日）⑥京都府笠置町、南山城村と定住自立圏形成協定（10月4日）⑦市消防団が全国消防操法大会の小型ポンプの部で初優勝（10月14日）⑧岡本栄市長の2期目がスタート（11月21日）⑨上野天神祭のダンジリ行事がユネスコ無形文化遺産に登録決定（12月1日）⑩ウィッツ青山学園高校の新しい運営先（神村学園）を国に報告（12月26日）

元紀北町議「死亡した組員から拳銃」

検察側、懲役5年求刑

拳銃と実弾を自宅に隠し持っていたとして、銃刀法違反（加重所持）の罪に問われた元紀北町議で採石業の東篤布（ひがしあつのぶ）被告（62）＝紀北町相賀＝の論告求刑公判が27日、津地裁であり、検察側は懲役5年を求刑した。

東被告は被告人質問で、拳銃は知人の暴力団組員から3、4年前に預かったと説明。「怖い人で押し返すようになっていた。

尾崎監督の指導歴は35年を数える。過去に監督を務めた四日市工業高を6度甲子園に導いた。

高校野球担当の私は初めて同校の練習を取材に訪れた時、熱のこもった指導に圧倒されたのを覚えている。「そんなんでいいのか？ また夏、負けんぞ！」。ノック中、響きわたる監督の怒鳴り声。高校球児だった私自身、監督に厳しく指導された記憶がよみがえり、懐かしくも身がすくみあがる思いがした。

尾崎監督は、掃除や礼儀、あいさつなどの所作にも厳しい。そういった姿を見るにつけ、「古き良き熱血監督」という第一印象ができあがっていた。

だが、日々取材していると、ユニークな練習法にたびたび目が止まった。

ノック練習では、選手が特殊なめがねを付けていた。高速で点滅するため、飛んでくるボールが細切れに見えるという。「動体視力が鍛えられますよ」と選手が教えてくれた。新チームでは、体幹トレーニングに米海軍特殊部隊の元司令官が開発したというつり輪様のロープを使う。

「レベルを上げるためにどんな効果的なトレーニングができるか、興味があるんです」。保健体育科の教諭でもある尾崎監督は、書籍やインターネットをチェックして常に新しい練習法を探しているという。「練習は定食と同じ。常に同じメニューではつまらないでしょう。子供たちに多くの角度から刺激を与えたいんでね」

自身が長年培ってきた指導法にこだわるのではなく、新しい指導の形を常に模索し続ける。その「探究心」に、監督の名将たるゆえんを感じた。（田中翔人）

名将 あくなき探求心

回顧2016

7 いなべ総合 甲子園16強入り

甲子園出場を決めた2日後の7月30日、いなべ総合（いなべ市）の尾崎英也監督はミーティングに集った部員の前で、手製の小さな甲子園の模型を手にしていた。

球場に見立てたのは、洗面器。ボール代わりに割り箸を2本立てた。

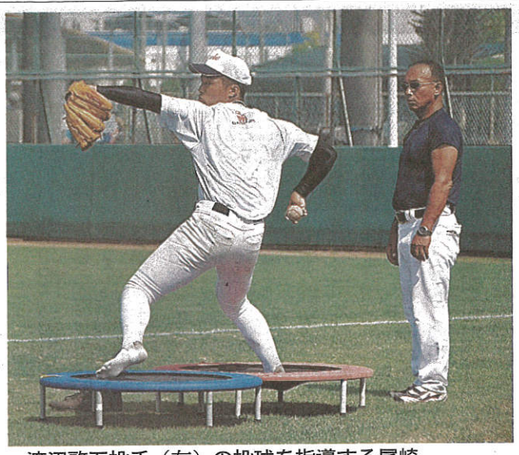
「甲子園の風はこの方向に吹く。スタンドに当たると、こう舞うよな？」

甲子園はライトからレフト方向に向かって「浜風」が吹く。高く上がった打球がどう影響を受けるか、選手たちにイメージさせた。

実際に浜風を体感する機会となった8月1日の甲子園練習。監督は通常の練習球ではなく、ゴルフボール大の小さいボールでフライを打ち始めた。上がった球は風の影響を受け、選手たちは左右に振られながら懸命に球を追いかけた。

左翼を守る藤井亮磨選手（3年）は練習後、「思っていた以上に浜風は強い。（選抜に出場した）春とは全然違う。その感覚がつかめて良かった」と手応えを口にした。全国から集まったスポーツ記者も小さなボールに興味津々の様子で、監督を質問攻めにした。

終わってみれば、甲子園で戦った3試合で外野手の失策はゼロ。練習ではフライに苦労していた選手も、試合では落下点に素早く入り、安定した捕球を見せるようになっていた。


渡辺啓五投手（左）の投球を指導する尾崎監督。重心を意識させるため、トランポリンを使っていた＝8月、京都府久御山町

甲子園16強のいなべ総合

甲子園出場は春夏連続で、夏の選手権大会は6年ぶり2回目。1回戦で鶴岡東に逆転勝ちし、甲子園初勝利を収めた。2回戦で山梨学院を下し16強入り。3回戦で選抜4強の秀岳館と対戦し中盤まで接戦を演じるも1－6で敗れた。

伊賀

アレルギー性ひふ炎・やけど
しっしん・虫さされ・あせも 他
指定第2類 医薬品 ヒドロコルチゾン酢酸エステル配合
コーチゾン 雪の元
※使用上の注意書をよく読んでお使い下さい。
(株)雪の元本店
橿原市大谷町182
☎0744-22-2440
FAX0744-22-2406

津総局
〒514-0032
津市中央9-2
☎ 059(228)4141
fax (224)4817
mail:mie.opi@asahi.com
伊賀支局
〒518-0842
伊賀市上野桑町2234
☎ 0595(21)3225
fax (21)3227
名張支局
〒518-0624
名張市桔梗が丘4-7-53
☎ 0595(65)8111
fax (65)8112
購読・配達のご用は
上野北 (23)3164
上野 (21)0206
名張 0120(62)0037
桔梗が丘
東部 (65)2479
西部 (63)8939
広告のご用は
朝日エリア・アド 0742(24)0376
折り込みのご用は
朝日オリコミ大阪 0742(61)3015